



Dr.Web Server Security Suite
Dr.Web Anti-virus for Windows Servers
Ver.12
インストールガイド

株式会社 Doctor Web Pacific

初版 : 2019/01/17

改訂 : 2020/07/20



目次

1. はじめに.....	3
1.1 ライセンス証書の受領.....	3
1.2 ライセンス証書に含まれる内容.....	3
2. 環境前提条件.....	3
3. 準備.....	4
3.1 インストール環境の確認.....	4
3.2 Windows Defender の無効化.....	4
3.3 ファイル.....	4
4. インストール.....	5
5. インストール後の Dr.Web Anti-Virus の確認.....	8
6. ケーススタディ.....	8
6.1 設定変更可能モードへの変更.....	8
6.2 プロキシサーバーの設定.....	10
6.3 更新頻度の変更.....	12
6.4 更新されるコンポーネントの変更.....	12
6.5 hosts ファイルを変更するアプリケーションのインストール.....	14
6.6 通知設定.....	14
6.6.1 通知項目の設定.....	14
6.6.2 通知メールアドレスの設定.....	15
6.7 「隔離マネージャー」の起動.....	16
6.8 除外設定.....	18
6.8.1 SpIDer Guard、Dr.Web Scanner の場合.....	18
6.8.2 予防的保護の場合.....	20
6.9 ライセンス更新.....	23



この度は、株式会社 Doctor Web Pacific の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。本ガイドは、初めて弊社製品をご利用いただくお客様向けに、弊社アンチウイルスソフトウェア(Dr.Web Anti-virus for Windows Servers)をインストールいただくための手順を説明する資料となります。なお、詳細な機能や操作の説明に関しましては、製品マニュアルをご参照ください。

1. はじめに

1.1 ライセンス証書の受領

ライセンス証書は、Doctor Web Pacific(以下、DWP)または、DWP パートナー企業より、電子メールか郵送もしくはその両方の方法で、お客様へ送付いたします。

1.2 ライセンス証書に含まれる内容

ライセンス証書には、以下のライセンスに関する情報が記載されておりますので、大切に保管してください。

- customer (お客様情報)
- product(購入製品名)
- serial number(製品用キーコード)
- license term(ライセンス期間)
- protected objects (購入ライセンス数)

※ “My Dr.Web”につきましては、日本ではご利用できません。

2. 環境前提条件

本書は、下記の環境で動作確認の上作成しております。

- OS : Windows Server2016 (64bit)
- ブラウザ : Internet Explorer 11



3. 準備

3.1 インストール環境の確認

➤ 他のアンチウイルスソフトウェアのアンインストール

Dr.Web Anti-virus for Windows Servers バージョン 12(以下、Dr.Web Anti-Virus)のインストールを実行される前に、インストール対象の PC に他のアンチウイルスソフトウェア(異なるバージョンの Dr.Web 製品含む)がインストールされていないことをご確認ください。

他のアンチウイルスソフトウェアがインストールされている場合、完全に削除(アンインストール)を実施後、Dr.Web Anti-Virus のインストールを実行してください。

➤ プロキシサーバーの利用

プロキシサーバーを利用している場合、プロキシサーバーのアドレス、ポート等プロキシサーバーを利用する際に必要な情報を確認してください。

※ サポート OS、メモリ、HDD 容量等については、インストールマニュアルを参照してください。

※ **Windows Server 2003、Windows Server 2003 R2 にはインストールできません**ので、ご注意ください。

3.2 Windows Defender の無効化

Windows Server 2016 以降を使用されている場合は、グループポリシーを使用して、Windows Defender を無効にしてください。

3.3 ファイル

以下のファイルを用意してください。

インストールファイルおよび Key ファイルの入手方法については、「Dr.Web ダウンロード&アクティベーションガイド」を参照してください。

➤ インストーラー

Windows 用のインストールファイルを用意し、インストール対象の PC にコピーしてください。

➤ Key ファイル

Agent.key または drweb32.key をインストール対象の PC にコピーしてください。

4. インストール

《注意》本手順は、Administrator アカウントでの実行を前提に記載しております。

- 1) インストール対象の端末にコピーした、インストールファイルを実行してください。
※ プログラムが実行されると、下記の画像が表示されます。



図 1. プログラム開始

- 2) 以下の画面が表示されたら、ライセンス使用許諾契約を確認の上、「Dr.Web Cloudに接続します」にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックしてください。



図 2. Dr.Web Cloud

※ 「Dr.Web Cloudに接続します」にチェックを入れた場合でも、個人情報は送信されません。

- 3) 「登録ウィザード」の画面が表示されたら、「有効なキーファイルのパスを指定する」にチェックを入れ、「参照」ボタンをクリックし、予め PC 上に保存した Key ファイル選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

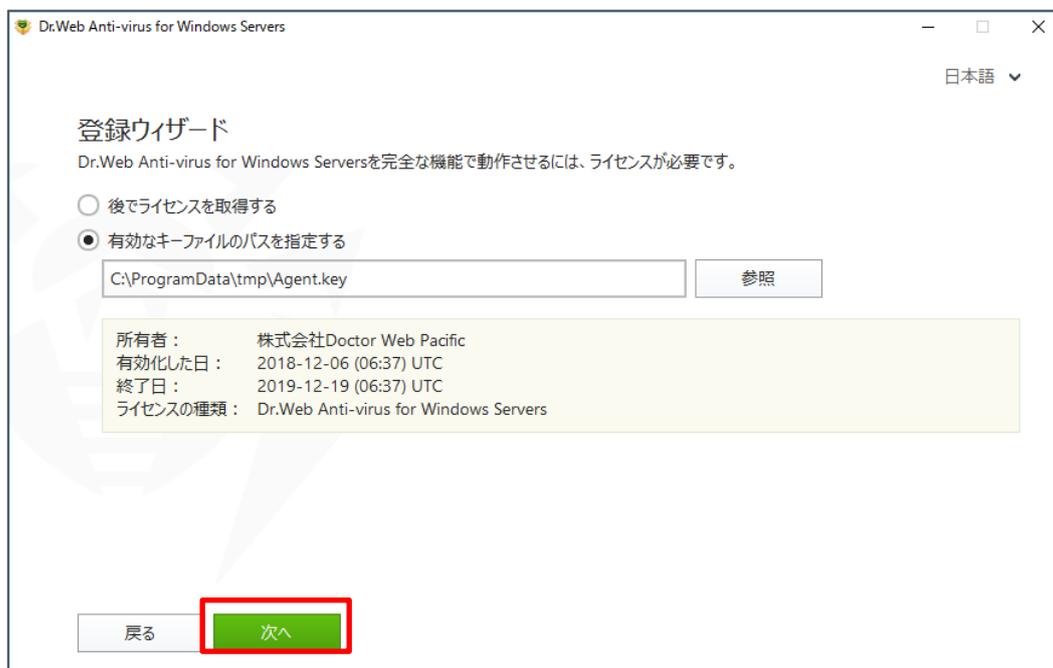


図 3. 登録ウィザード

- 4) 「プロキシサーバーのパラメータ」の画面が表示されたら、必要に応じてプロキシサーバーの情報を入力し、「インストール」ボタンをクリックしてください。

《注意》クリックする前に、必ず他のアンチウイルスがインストールされていないことを確認してください。

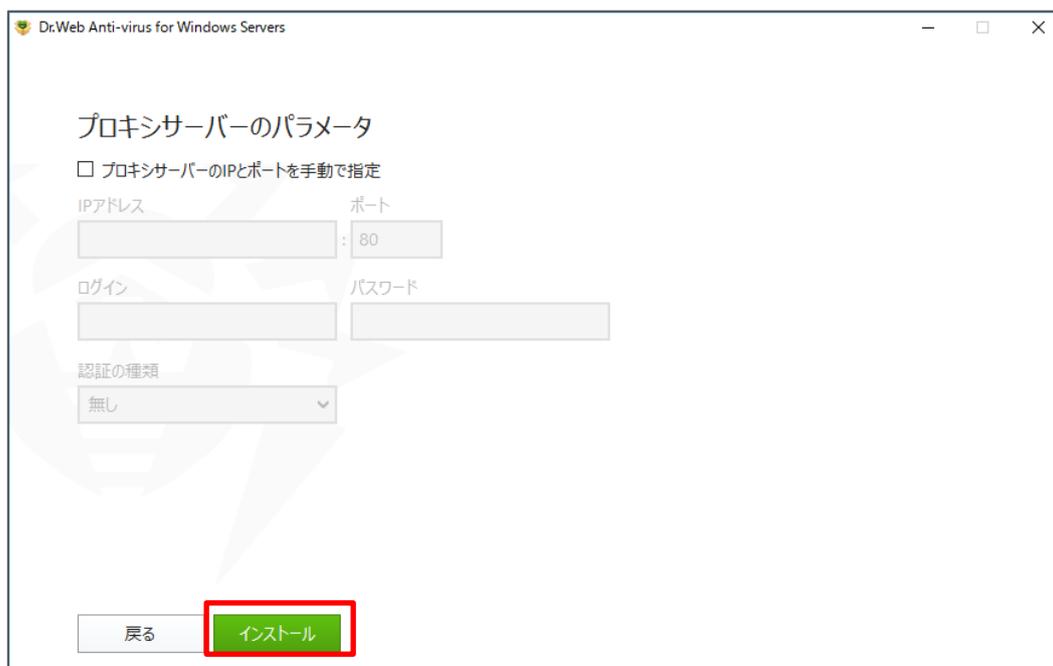


図 4. プロキシサーバーのパラメータ

5) インストールが開始します。



図 5. インストールプロセス

6) 「インストールが完了しました」と画面に表示されたら、「今すぐ再起動する」ボタンをクリックしてください。

※ PC が再起動した後に、Dr.Web Anti-Virus が動作を開始(有効化)します。



図 6. インストール完了 - 再起動要求

5. インストール後の Dr.Web Anti-Virus の確認

インストールされた Dr.Web Anti-Virus は、デスクトップ画面右下の常駐アイコンにて表示されます。

Dr.Web Anti-Virus の常駐アイコンが、以下のような状態でしたら問題なく動作しています。

- ※ Dr.Web Anti-Virus のアイコンが見当たらない場合は、▲マークをクリックして、隠れているインジケーター内を確認してください。



図 7. Dr.Web Anti-Virus アイコン

6. ケーススタディ

6.1 設定変更可能モードへの変更

設定を変更する場合は、各設定画面の左下にある「錠」アイコンが開錠された状態である必要があります。

- 1) Dr.Web Anti-Virus の常駐アイコンをクリックしてください。

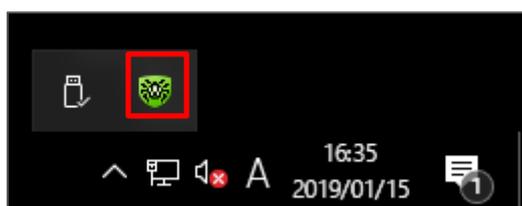


図 8. Dr.Web Anti-Virus アイコン

- 2) 表示されたメニューから「Security Center」アイコンをクリックしてください。



図 9. メニュー

- 3) 表示された画面左下の「錠」アイコンをクリックしてください。



図 10. Security Center

- 4) 画面左下の「錠」アイコンが、開錠された状態に変更されたことを確認してください。



図 11. Security Center

6.2 プロキシサーバーの設定

- 1) 設定変更可能モードに変更してください。
- 2) Security Center の画面右上にある「歯車」アイコンをクリックしてください。



図 12. Security Center

- 3) 「設定」画面が表示されたら、「ネットワーク」をクリックしてください。



図 13. [設定]-[一般]

- 4) 「プロキシサーバを使用する」を「オン」に変更してください。



図 14. [メイン]-[ネットワーク]

- 5) 「プロキシサーバのパラメータ」画面が表示されるので、プロキシサーバのアドレスやポート等を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 15. プロキシサーバのパラメータ

- 6) 「メイン」画面にて、以下を確認し閉じてください。
- 「プロキシサーバを使用する」が「オン」に変更されたこと。
 - 指定したプロキシサーバのアドレス

6.3 更新頻度の変更

Dr.Web では、ウイルス等のデータベースやコンポーネント等の更新頻度を初期値の 30 分から変更することができます。

- 1) 設定変更可能モードに変更してください。
- 2) Security Center の画面右上にある「歯車」アイコンをクリックしてください。
- 3) 「設定」画面が表示されたら、「更新」をクリックしてください。
- 4) 「更新を受け取る」のプルダウンリストから、設定したい更新頻度を選択し閉じてください。



図 16. [設定]-[更新]

6.4 更新されるコンポーネントの変更

Dr.Web では、ウイルス等のデータベースのみを更新するように設定することができます。

- 1) 設定変更可能モードに変更してください。
- 2) Security Center の画面右上にある「歯車」アイコンをクリックしてください。
- 3) 「設定」画面が表示されたら、「更新」をクリックしてください。

4) 「アドバンス設定」をクリックしてください。



図 17. [設定]-[更新]

5) 「更新されるコンポーネント」で「データベースのみ」を選択し、閉じてください。



図 18. [設定]-[更新] (アドバンス設定)

6.5 hosts ファイルを変更するアプリケーションのインストール

アプリケーションのインストール時に hosts ファイルを変更するもの(例えば、VMware Horizon View Client 等)をインストールされる場合、予防的保護により hosts ファイルの変更がブロックされアプリケーションのインストールに失敗します。

このようなアプリケーションをインストールされる場合は、以下を無効化(停止)した状態でインストールを実施してください。

- セルフプロテクション
- Behavior Analysis

6.6 通知設定

6.6.1 通知項目の設定

- 1) 設定変更可能モードに変更してください。
- 2) Security Center の画面右上にある「歯車」アイコンをクリックしてください。
- 3) 「設定」画面が表示されたら、「通知」をクリックしてください。
- 4) 「通知のパラメータ」をクリックしてください。



図 19. [設定]-[通知]

5) 「通知のパラメータ」画面が表示されるので、通知タイプと通知方法を選択してください。



図 20. [通知のパラメータ]

※ メール通知を設定する場合は、6.6.2 を参照してメールの設定を行なってください。

6.6.2 通知メールアドレスの設定

- 1) 設定変更可能モードに変更してください。
- 2) Security Center の画面右上にある「歯車」アイコンをクリックしてください。
- 3) 「設定」画面が表示されたら、「通知」をクリックしてください。
- 4) 「通知を E メールで送信」を「オフ」から「オン」に変更してください。



図 21. [設定]-[通知]

- 5) 「メールアドレス」を指定する画面が表示されるので、通知を受信するメールアドレスを入力し、「次へ」ボタンをクリックしてください。
- 6) 「メールサーバー」画面が表示されるので、「選択」をクリックしてください。
- 7) 表示された一覧から、設定するメールアドレスに合ったものを選択してください。
- 8) 必要な情報を入力し、「次へ」ボタンをクリックしてください。
- 9) アドレス確認画面にて、確認コードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。
 - ※ 確認コードが届いていない場合は、「コードを再度送信」をクリックしてください。
- 10) 「通知」画面にて、以下を確認し閉じてください。
 - 「通知を E メールで送信」が「オン」であること。
 - 指定したメールアドレスが表示されていること。
 - 「E メールが確認されていません」の表示がされていないこと。
これが表示されている場合、確認コードの入力が必要です。

6.7 「隔離マネージャー」の起動

- 1) Dr.Web Anti-Virus を管理モードに変更してください。
- 2) Security Center から「ツール」をクリックしてください。



図 22. Security Center

- 3) 「ツール」から、「隔離マネージャー」をクリックしてください。



図 23. ツール

- 4) 「隔離マネージャー」画面が開き、隔離されているファイルの一覧が表示されます。



図 24. 隔離マネージャー

6.8 除外設定

6.8.1 SpIDer Guard、Dr.Web Scanner の場合

- 1) 設定変更可能モードに変更してください。
- 2) Security Center から「除外」をクリックしてください。



図 25. Security Center

- 3) 「除外」画面が表示されます。



図 25. 除外

➤ ファイルとフォルダの除外

「除外」画面から、「ファイルとフォルダ」を開き、「+」アイコンをクリックして、除外したいファイルやフォルダを指定してください。

あわせて、除外対象にするコンポーネントを指定してください。



図 26. [除外]-[ファイルとフォルダ]

➤ プログラムとプロセスの除外

「除外」画面から、「アプリケーション」を開き、「+」アイコンをクリックして、除外したいプログラムを指定してください。

あわせて、除外対象にするコンポーネントを指定してください。

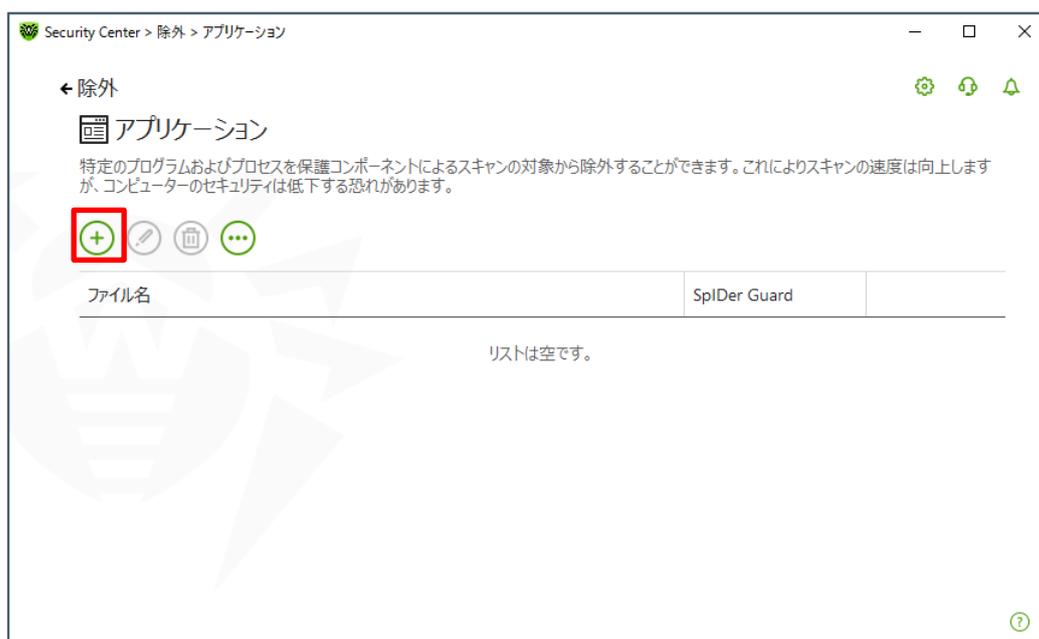


図 27. [除外]-[アプリケーション]

6.8.2 予防的保護の場合

- 1) 設定変更可能モードに変更してください。
- 2) Security Center から「Preventive Protection」をクリックしてください。



図 28. Security Center

- 3) 「Preventive Protection」画面から「Behavior Analysis」をクリックしてください。

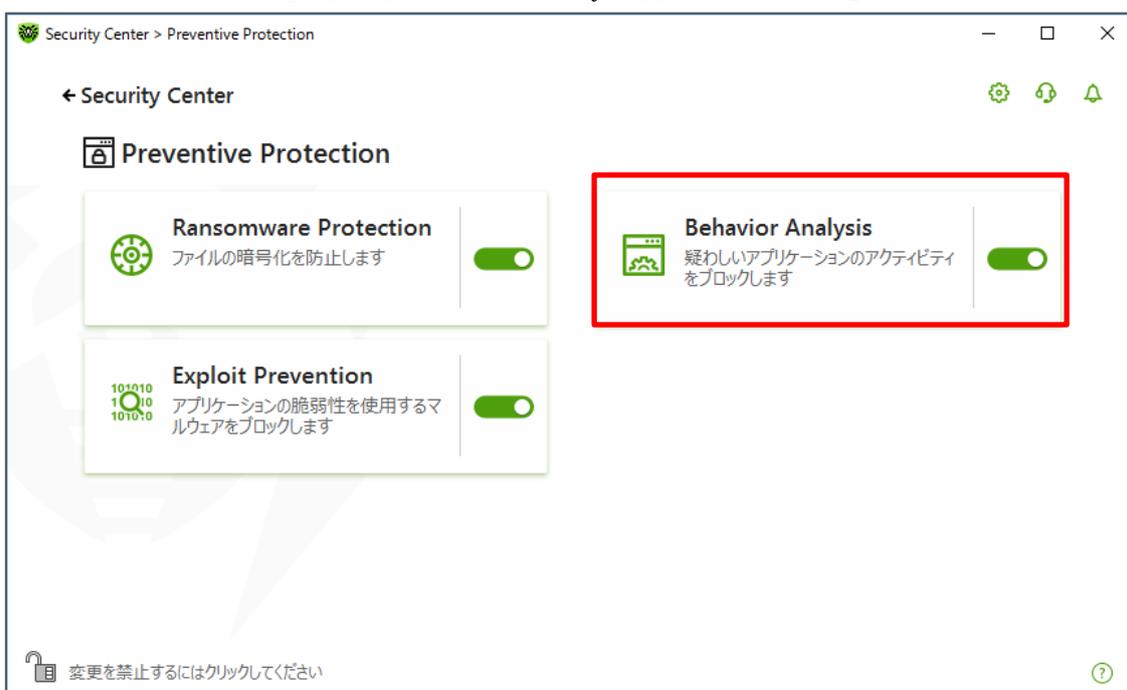


図 29. Preventive Protection

- 4) 「アプリケーションアクセス」をクリックしてください。



図 30. [Preventive Protection]-[Behavior Analysis]

- 5) 「アプリケーションアクセス」の画面で、「+」アイコンをクリックし除外したいプログラムを指定してください。



図 31. [Preventive Protection]-[Behavior Analysis]

- 6) 「アプリケーションルール」画面が表示されたら、「参照」ボタンをクリックし、除外したいプログラムを選択した後、「保護するオブジェクト」に対するアクションを変更し、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 32. アプリケーションルール

- 7) 指定したプログラムが表示されていることを確認した後、画面を閉じてください。

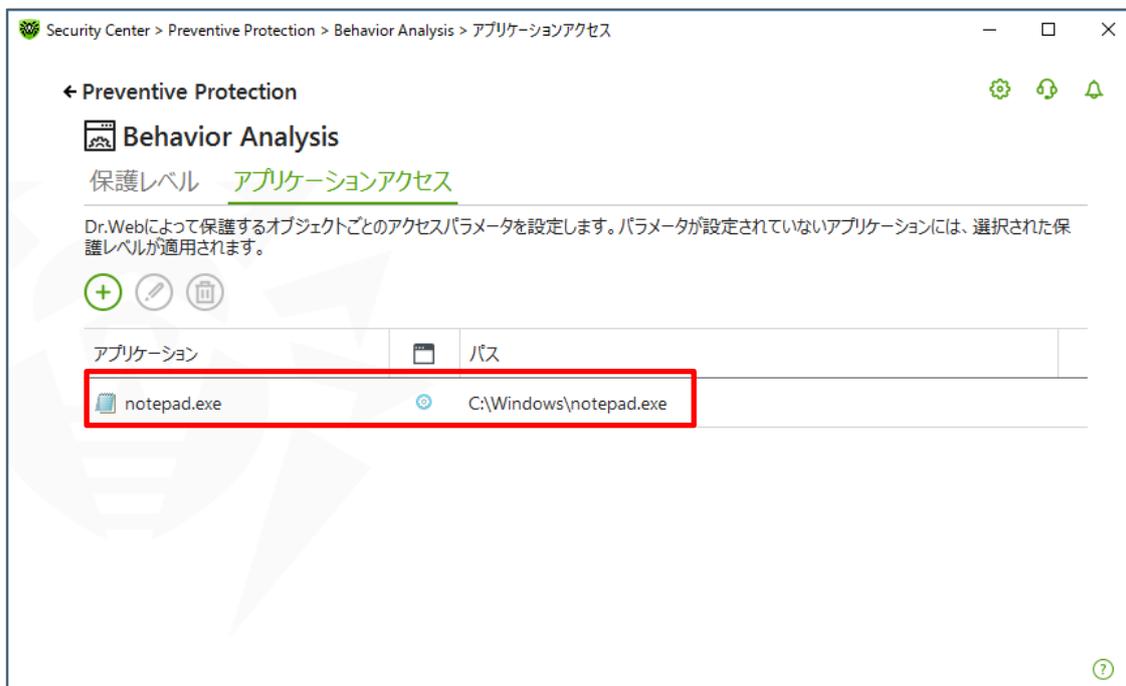


図 33. [Preventive Protection]-[Behavior Analysis]

6.9 ライセンス更新

※ 更新されたライセンスキーファイルを用意した上で実施してください。

- 1) 設定変更可能モードに変更してください。
- 2) Security Center から「ツール」をクリックしてください。



図 34. Security Center

- 3) 「ツール」画面が表示されたら、「ライセンスマネージャー」をクリックしてください。



図 35. ツール

- 4) 「ライセンスマネージャー」の画面から、「新しいライセンスを購入または有効化」ボタンをクリックしてください。

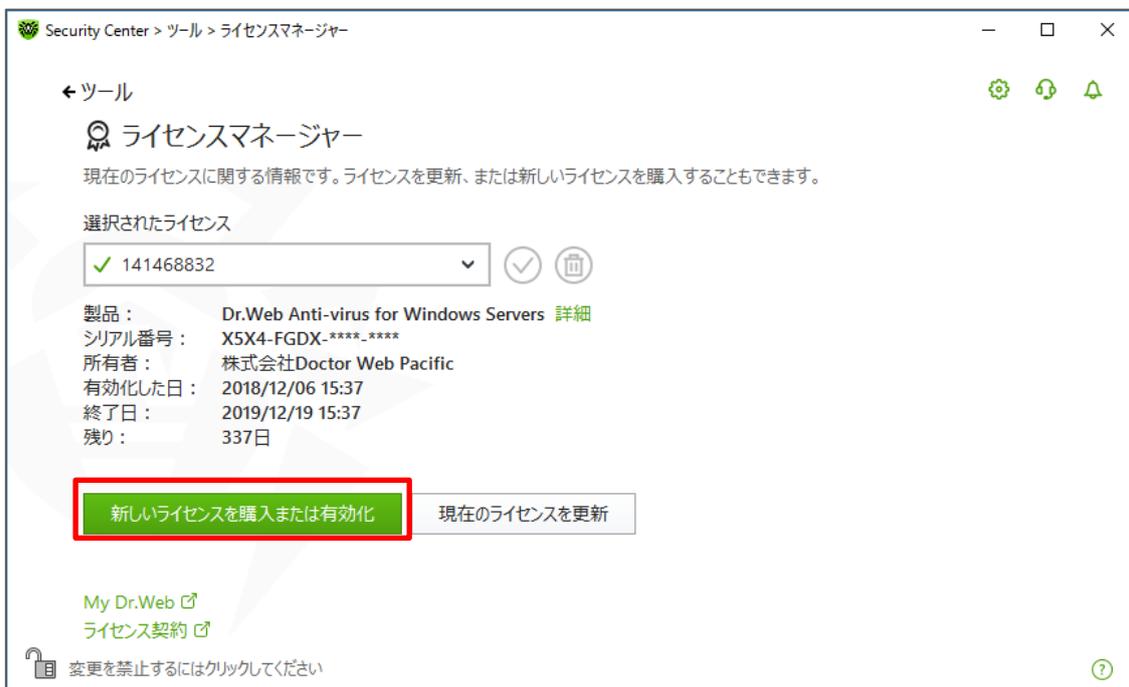


図 36. [ツール]-[ライセンスマネージャー]

- 5) 「ライセンスの有効化」の画面で、「参照」ボタンをクリックし、更新されたライセンスキーファイルを指定してください。



図 37. [ツール]-[ライセンスマネージャー]-[ライセンスの有効化]

- 6) キーファイルを指定した後、表示された所有者情報、終了日等の情報に誤りがないことを確認し、「完了」ボタンをクリックしてください。

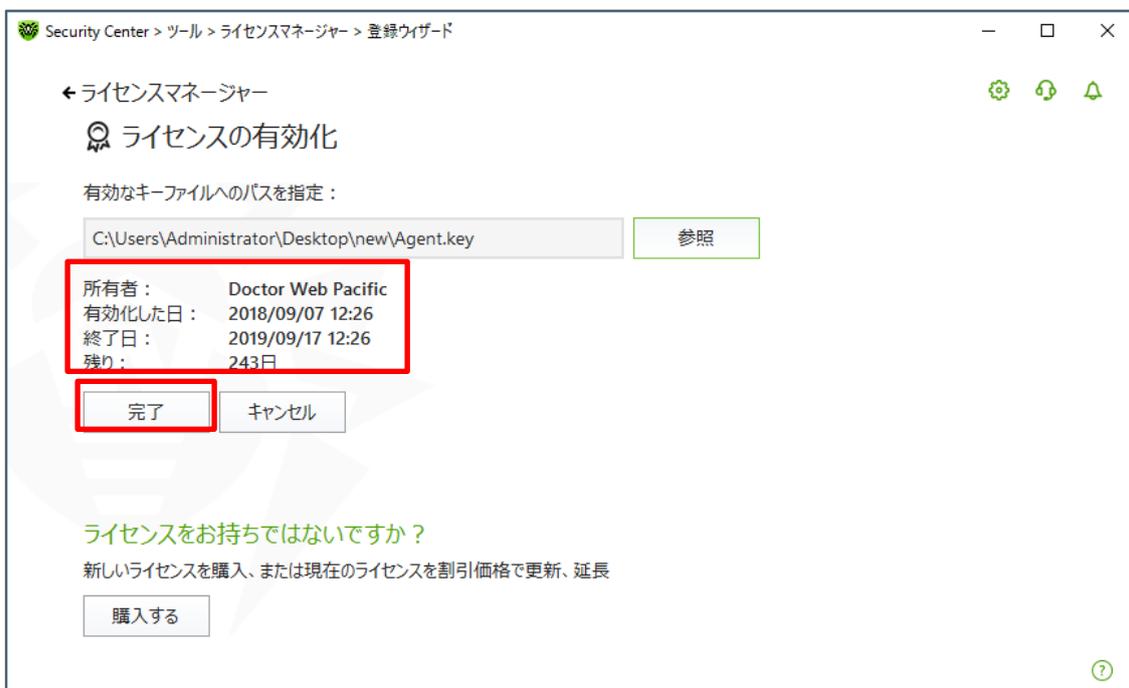


図 38. [ツール]-[ライセンスマネージャー]-[ライセンスの有効化]

- 7) 「ライセンスマネージャー」画面が表示されたら、新しいライセンスが登録されたことを確認してください。

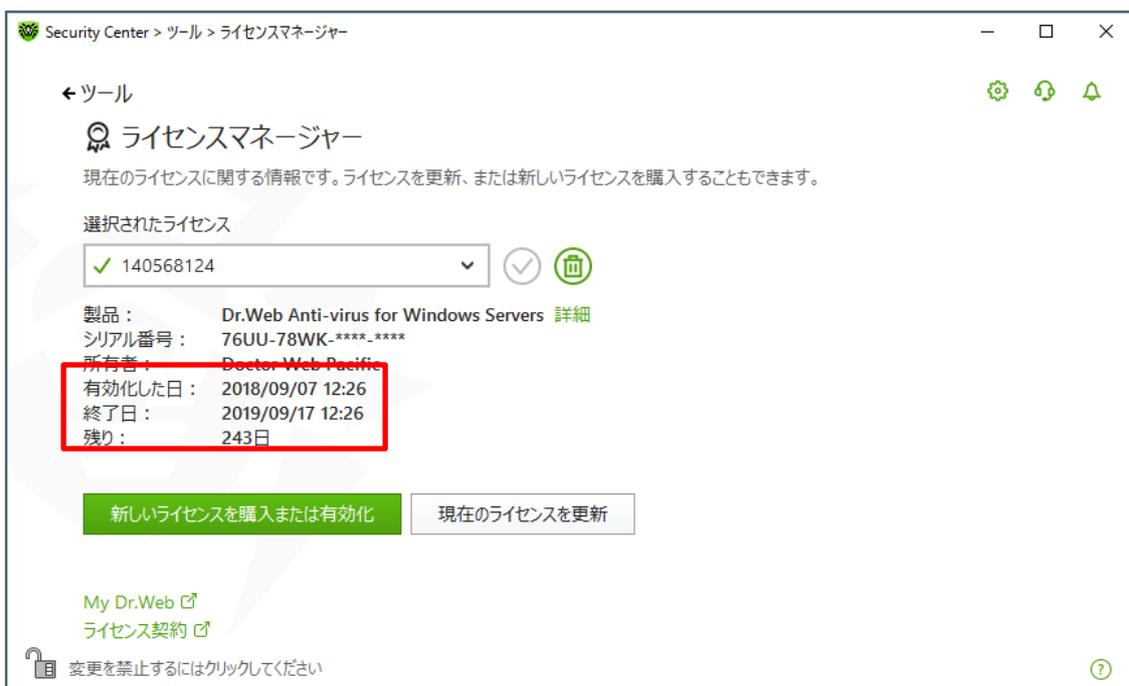


図 39. [ツール]-[ライセンスマネージャー]-

※ 以降は、以前のライセンスの削除の手順になります。誤って、更新されたライセンスを削除しないよう、注意してください。

- 8) 「選択されたライセンス」をクリックし、表示されたリストから以前のライセンスを選択した後、「ごみ箱」アイコンをクリックしてください。

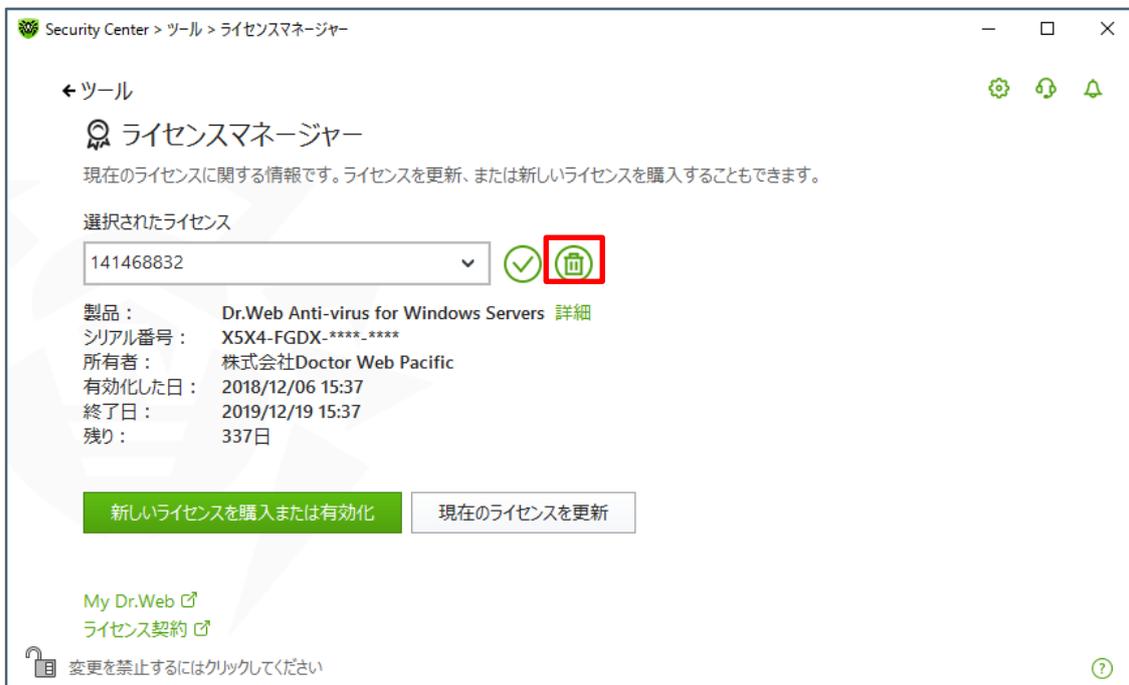


図 40. [ツール]-[ライセンスマネージャー]-

- 9) 「確認」画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 41. 確認(ライセンスマネージャー)

10) 「ライセンスマネージャー」画面が表示されたら、表示されている内容を再度確認し閉じてください。

※ ライセンスの終了日が更新されたライセンスのものか確認してください。

※ 登録されているライセンスが一つだけの状態では、ごみ箱アイコンはグレー表示となります。



図 42. [ツール]-[ライセンスマネージャー]-



お使いの製品の詳細な機能の説明や、利用方法は、各製品マニュアルをご参照ください。
また、製品のご利用について、ご質問やトラブル等がありましたら、下記 URL よりお気軽にお問い合わせください。

<https://support.drweb.co.jp/>

株式会社 Doctor Web Pacific
〒105-0003 東京都港区西新橋 1-14-10 西新橋スタービル 2F
URL: www.drweb.co.jp